

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

180号

2016年5月28日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

○ 中央図書館についての説明会

その1 5月23日(月) 於 地域センター

これまで7回の説明会を行ってきたと区は説明していますが、毎回地元住民の反対意見しか聞かれませんでした。今回初めて賛成の意見を言う人達が現れて発言していました。出席者もいつもは50人を超えるのに、30人ほどだったので雰囲気は違っていました。すでに筋書きはできあがっていて、茶番劇を見るようだとの声も。14日発行の区報では、はっきり平和公園での中央図書館建設が決定した、と出ています。あれだけの反対意見を押し切って誰が決定したのか明確にしてほしいとの意見がありました。

それにしても武蔵野プレイスの作り方とは真逆の板橋区行政の姿勢は変えられないものでしょうか。区民を計画の場にも決定の場にも中心に据えて作った武蔵野市の質の高さを勉強してもらいたいと思います。

その2 5月26日(木) 18:30~
於 図書館地下の視聴覚室

「中央図書館の改築に伴う区民との意見交換会」という題。車座に配置された席は良かったものの、自由に意見を、と言われて夫々述べると、個々の意見ばかりだと後でいわれたのには唖然。出席者16名、図書館に案内ポスターでもあれば利用者が多数参加したかもしれません。区側は23日の地域センターでの説明会で、平和公園決定を地元で説明(納得ではない)済みとし、跡地には地域センターと区民事務所を建てる予定。中央図書館の移転後は1km以内にあるべき図書館サービスから常盤台は空白地帯になってしまう。図書館機能を残してほしい、小規模でもよいから地域図書館を作ってほしい、という現利用者や地元住民の声はどう生かされていくのか、注目していきましょう。これからです。

○ 板橋区の上空を1時間44便も飛行機が低空飛行?

オリンピックに伴う航空機の便数増加が問題になっています。

羽田空港の発着便が最大1時間に44便~30便、少なくとも2分に1機、それも今までなら15,000m上空を飛んでいたのに、1,200mもの低空を飛ぶことになるのか。

飛行機からは氷塊や部品の落下物の危険があり、もしもの事故も危惧されます。騒音被害については、「航空機騒音を考える文京区民の会」などがすでに結成されています。

板橋区はどうなっていくのか、国交省が次のような説明会を開くそうです。あまり知られていない話ですが、閑静な住宅街のはずが、飛行機騒音で悩まされないよう、ぜひ見に行ってください。

教育科学館(2F 研修室)

6月3日(金) 13時~19時

6月4日(土) 11時~17時

成増アクトホール

6月6日(月) 13時~19時

いずれもオープンハウス型説明会と称し、国土交通省職員がパネル展示しつつ質問に答えるそうです。

○ 「私の終わらない旅」 上映予告

坂田雅子監督

全国景観市民ネット主催、

時 7月9日(土) 13:30~15:00

所 泉の森会館(小田急線狛江駅2分)

ちいさな図書館によるまちづくり

中央図書館が移転してしまうのは、常盤台にとって大きな変化になるでしょう。今の規模でなくともよいから図書館を残してほしいというのが大多数の希望のようですが、ここに一つの提案があり、提案者のNさんに代わって書いてみます。

それは「ちいさな図書館」運動です。

常盤台には亡くなった家族の蔵書をかかえて困っている人もいます。整理せざるを得ない場合は、専門的で知的に高い水準の本を散逸させる無念な思いを推察します。また、空き家に近い家もだんだん見かけるようになりました。そのような家々が連携して、小さな図書館を開くのです。お店の片隅でも構いません。

ネットはどこにどんな本があるか、お互いに検索できるようにしておきます。そうすれば簡単な窓口さえ残してくれば、大きな建物は不要になります。代わりに町全体がいくつかのスポットをつないだ図書館になるわけです。

他人が入ってくる不愉快さを感じるかもしれませんが、それぞれ開館時間や日にちを限定し、利用者についても制限をつければ、嫌な思いを避けることができるでしょう。

この方法で実際にまちづくりをしている所が既にあります。インターネットで調べればすぐに出てきますが、明石市・多賀城市・船橋などで取り組まれており、その活動を載せた本も出版されています。

はじめは抵抗があるかもしれませんが、検討してみる価値はあるのではないのでしょうか。常盤台が景観だけでなく、知的な水準を保つために。

公園に来たツミ

常盤台公園に飛来した小型の猛禽類は、どうやらツミのようです。ある人に聞いたのですが、板橋区内のある場所で営巣が確認されているとか。写真を撮りたがる人たちに荒らされないよう、場所は言えないようですが、常盤台公園へはちよつとした散歩で立ち寄ったのでしよう。

南宇都宮からのお客さま

南宇都宮駅前のミナミ食堂の方たちが常盤台を来訪、街をひとめぐりして行きました。駅舎の類似に改めて驚嘆し、バラの花を愛で、話に興じて帰られました。似たような道路構成の吉野町に住んでいて、比較して常盤台の広さも実感したようでした。駅舎がとりもつ不思議なご縁です。

ときわ台駅は改修？

昨年十一月ごろから北口の交番側の店舗が閉店したままなのが気になります。エレベーター設置に伴う改修と見ているのですが、秘密主義の東武鉄道は何も教えてくれません。

駅舎を立ててテナントを入れたいところでしょうが、たぶん常盤台駅舎の保存がネックになっているのではないのでしょうか。歴史的にも景観上からも貴重な文化遺産であるこの駅舎を保存するためなら、私たちは協力を惜しまないのですが、東武鉄道の意欲がいち伝わってきません。

常盤台公園のはなづくり

一丁目のWさんから、アメリカ芙蓉の苗、アロエ、セントッドセラニウムをいただきました。アメリカ芙蓉は道からもよく見えるように、道路側のツツジの間に植えました。アロエの植え場所は富貴草の奥にしました。

遅咲きのバラがまだ咲いています。今年には赤のパパメイアンがたくさん花をつけました。一部のバラに、ゴマダラカミキリヘー名テツポウムシ・シンクイムシンにやられた枝が出てしまいました。公園以外でも、数軒のバラ愛好家のバラに、同じ被害が出ました。この辺では今まであまり聞かなかった虫害ではないでしょうか。

カミキリ虫といえば、全国的に蔓延している外来種のクビアカツヤカミキリの被害が新聞に出ていました。そつえば、和光市の樹木公園に行ったところ、桜の木が何本となく無残にも立ち枯れていました。このカミキリムシが原因と思われる。ゴマダラというクビアカといい、最近の地球温暖化に伴っての動植物界の変化なのかもしれません。

ナデシコは終わりかけ、ユリがつぼみをつけています。その後はアジサイが待っています。公園は探せば何かしら花が咲いています。六月十日には、みどり公園課から苗が届きます。植えつけにご協力いただけると有り難いです。